

# 枚方中国語を学ぶ会だより

2014年12月号

発行 枚方中国語を学ぶ会

## 難しく楽しい中国語学習

## 恒例の合同学習会開かれる



紹介一下我的班—入門班

## 仲間が増えて

## 楽しく頑張っています

入門班は当初、6人でのスタートでしたが、新しい仲間が増えて今は9人で学習しています。

みんな、「発音・四声」の学習には、とても苦戦しました。（今でもよく間違える事がよくあります。笑）

今は会話形式の学習に少しずつ入ってきたので、単語の暗記や、基本的な文法を学んでいます。

これからは中検の準4級・4級の取得と、来年には初級班へ進級できるように、みんなで頑張っています。

11月9日（日）、サダ生涯学習センターで、枚方中国語を学ぶ会の合同学習会が行われました。

日頃は、各班ごとに学習しているメンバーが一同に会し、講師を招くなどして中国語への見識を深めると同時に、会員相互の親睦を図るための年一度の恒例行事です。

今年の講師は西川和男当会々長が自ら務められ、「中国語あれこれ」と題して話されました。（写真上）

会長は、まず「中国語は四声を間違えると通じない」と発音の大切さを話され、一声から四声までを実際に発音され、「日本人は二声と三声の区別をつけることが苦手」と指摘されました。実際、中国へ行った時に「通じない」ことを実体験したことがある参加者は、思わず苦笑しながら、頷くことしきりでした。

また、会長はユーモアいっぱい話され、「中国語の再見はまた会いましょう」という意味だけど、分かれることになった恋人が、別れる際にはどう言うんだろう」という話など、会場はしばしば笑いに包まれました。

講演後、会場は懇親会々場に。最古参の会員の音頭で乾杯（写真下）した後、各班や班を超えての歓談を楽しみました。

年3回開かれる全会員による懇親会の楽しみの1つは各班が工夫を凝らした出し物。今回も、「クイズ・四文字熟語」や「中国語による伝言ゲーム」で、難しさに頭を抱える姿に爆笑。また、絵本「はらべこあおむし」を中国語に翻訳した動く絵本の上映もあり、全員で楽しむ出し物に、会場は和やかな雰囲気になりました。

そして、最後は、今西事務局長の閉会の挨拶で、今年の合同学習会を終えました。

また、来年の合同学習会が楽しみだと思える充実した一日でした。

## 紹介します

## 枚方中国語を学ぶ会

本会は、1982年に枚方日中友好協会の中国語学習会としてスタートし、その後自主運営の「枚方中国語を学ぶ会」として約30年間中国語の学習を継続。現在、枚方市や近郊の仲間が年齢を問わず勉強中です。

- ◆入門班 毎週水曜日 6時30分から 枚方市民会館
- ◆初級班 毎週水曜日 6時30分から サンプラザ生涯学習C
- ◆中級班 毎週水曜日 6時30分から 枚方青少年C
- ◆上級Ⅰ班 毎週水曜日 6時30分から 枚方市民会館
- ◆上級Ⅱ班 毎週木曜日 6時30分から 枚方青少年C

会費 3000円/月（他に教材費など）

問い合わせ：072-859-1564 仲野まで

※詳しくは当会ホームページをご覧ください

覚えておきたい了の用法

この前の合同学習会の話で最後に残ってしまったのがありましたね。

「好久没见了」には、「没」と「了」が一緒に用いられているのはおかしくない？ という問いでした。まず誤解してはいけないのは、「没有了」（なくなった）とは違うということ。この場合の「没」は動詞で、「有了」（あった）の否定で「なくなった」です。表題の問いは、副詞の「没（有）」です。「動詞+了」の否定は、「没（有）」+動詞で、動詞の後ろの「了」はつけてはいけないことになっていますね。なのに表題では、「了」が残っています。

これは、「好久没见」+「了」に分離して考えなければなりません。この場合の「了」は文末の語気助詞（変化を表す）になります。「3年没见了」（3年間会ってないね）も同じで、「3年没见」（3年会ってない）+「了」（そうだった変化）ということになります。

活用してまず中国語

ただいま中国人学生と交流中

上級Ⅱ班 今西常恵

雲南師範大学の日本語教師の野村先生の依頼で、学生とメール交換を始めました。

22歳の3年生女性です。最初はお互いの自己紹介から開始しました。彼女の故郷は無錫で、家族は祖父母、両親との5人家族。趣味は書道、将棋で、将来の夢は日系企業の社員又は日本語の教師になることでした。

交流では、毎回テーマを決めてメールをし、日本語での返信を求めました。例えば、「彼女の一日」、「マレーシア航空機の行方不明」、「環境破壊」、「ウルムチテロ事件」、「韓国船の沈没」、「ワールド

カップ」などで、彼女の文章は考え方も堅実で表現力も素晴らしく、聡明さが伝わってきました。日本語の表現が間違っている箇所を指摘し、修正するように依頼すると、一週間で正しい日本語文に訂正し返信して来ました。初めは訂正箇所が多く有りましたが、最近は訂正箇所も激減し、表現力も向上してきました。彼女から「交流を通じて日本語の能力が向上出来て感謝しています」とのメールを頂き、「役に立てた」と喜びました。

そして、一カ月ほどメールが途絶えて心配していると、突然に「関西大学別科の留学生になりま

した」と連絡が入り、「お会いしたい」と携帯番号を知らせてきました。

そこで、昼食の希望を訊くと、「安くておいしい日本料理が食べたい」とのことだったので、梅田で会い、寿司屋に行くことに決めました。茶わん蒸し、刺身等の単品と盛り合わせを注文しましたが、何れも「美味しい」を連発して食べてくれました。ただし、タコだけは首をひねり無言でした。

彼女は今、朝6時に起きて一時間単語の暗記をしてから授業を受けているとのこと。一生懸命な学習態度を聞いて、ポケ防止を兼ねて学習しているわが身を顧みて汗顔の至りです。彼女の成長を見守りながら交流を続けていきたいと思っています。



リレー連載 私の中国語学習法①

DVDを見て、CDを聴いています

私は、学ぶ会での学習以外に、中国語ドラマのDVDを見ることを続けています。TUTAYAの中国・台湾の現代ドラマは殆ど借りました(笑)。

それと、雑誌「聴く中国語」を定期購読し、附属のCDをウォークマンに入れ、朝の散歩時と入浴時に聴くようにしています。「中国語耳」を作りたいと思っているのですが、現実には中々…。(上級Ⅱ班 磯野雅治)

「活用してまず中国語」「リレー連載 私の中国語学習法」に原稿を書いてください。

会員同士の活躍や学習方法を交流するコーナーです。あなたの原稿を待っています。

原稿を書いてくださった方は、各班の幹事さんまで。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_